

関市まちづくり市民アンケート調査結果報告書（概要版）

抜粋

平成 17 年 12 月

関市 市長公室 企画政策課

. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、『関市第四次総合計画』の策定にあたり、市民の生活意識や生活環境をはじめとするまちづくり全般、市政運営等に対する評価・意向を把握し、新しい計画に反映するために実施しました。

2. 調査の方法

調査地域 : 関市全域
調査対象 : 関市に居住する 18 歳以上の市民 3,000 名 住民基本台帳より無作為抽出
調査方法 : 郵送による配布・回収
調査時期 : 平成 17 年 8 月 1 日～8 月 17 日

3. 回収状況

配布数 : 3,000 票
有効回収数 : 1,235 票
有効回収率 : 41.17%

4. 集計にあたっての留意事項

集計における構成比率(%)は、四捨五入により合計比が 100%にならない場合があります。集計は、基本的に小数点第 2 位を四捨五入しています。そのために、SA(単一回答)の設問でも、合計が 100%にならないことがあります。

5. グラフ・文中の標記について

グラフの基数は、特に標記のない限り総数(N=1,235)です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。

各設問において、次の略称を使用しています。

SA : 選択回答が 1 項目のみ [SA = single answer]

MA : 回答への選択数制限なし [MA = multi answer]

×LA : 選択項目が×項目まで [LA = limited answer]

(例)「3LA」とは、選択肢の中から「3 つまで」選択するというを示す。

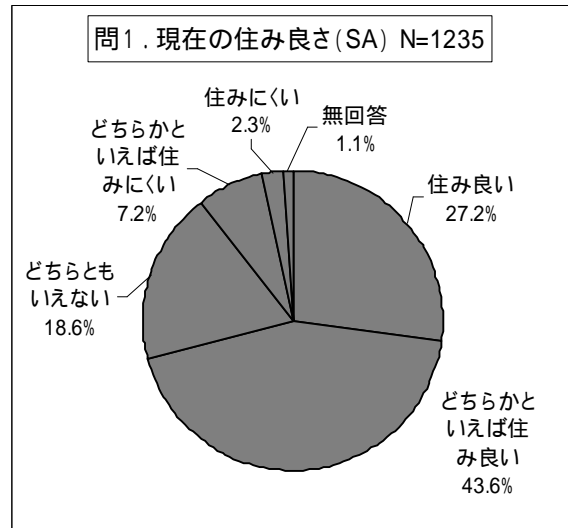
【関市での生活の様子について】

問1 現在の住み良さ

関市の現在の住み良さについては、“住み良い”（「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせた回答）が70.8%となっており、回答者の7割以上が“住み良い”と回答する結果となっています。

一方、“住みにくい”（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた回答）は9.5%となっています。

また、「どちらともいえない」の回答は18.6%、「無回答」は1.1%でした。

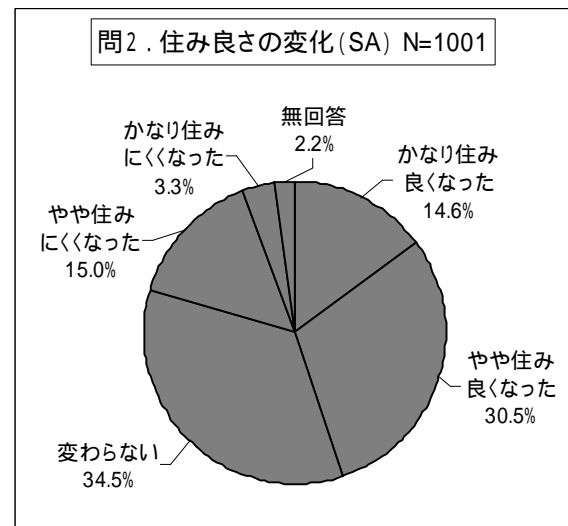


問2 住み良さの変化

関市の住み良さの変化について、居住年数10年以上の回答者にお聞きしたところ、“住み良くなった”（「かなり住み良くなった」と「やや住み良くなった」を合わせた回答）は45.1%となっており、回答者の約半数が住み良くなったと回答する結果となっています。

一方、“住みにくくなった”（「やや住みにくくなった」と「かなり住みにくくなった」を合わせた回答）は18.3%となっています。

また、回答者の約4割（34.5%）は「変わらない」と回答しています。。



(%)

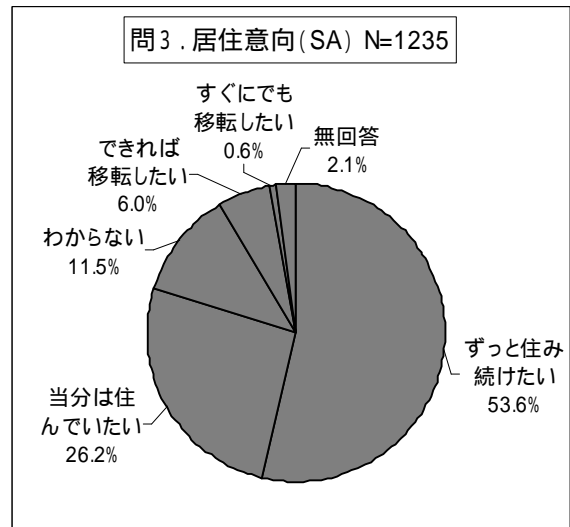
問1 現在の住み良さ		住み良い	どちらか といえ ば住 み良 い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば住 みに くい	住みにくい	無回答
総数 (N = 1235)		27.2	43.6	18.6	7.2	2.3	1.1
居住 地区 別	旧関市 (安桜、旭ヶ丘、桜ヶ丘) (N = 311)	32.2	47.3	14.8	4.5	1.0	0.3
	旧関市 (その他の旧関市) (N = 540)	25.4	47.2	16.3	7.8	2.8	0.6
	洞戸地域 (N = 39)	28.2	48.7	5.1	17.9	0.0	0.0
	板取地域 (N = 35)	20.0	40.0	31.4	5.7	2.9	0.0
	武芸川地域 (N = 120)	31.7	32.5	25.0	5.8	2.5	2.5
	武儀地域 (N = 87)	19.5	34.5	33.3	8.0	1.1	3.4
	上之保地域 (N = 43)	16.3	39.5	25.6	7.0	7.0	4.7
	その他 (N=11)	36.4	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0
無回答 (N = 49)		30.6	32.7	20.4	10.2	4.1	2.0

問3 居留意向

関市での居留意向は、「ずっと住みたい」が53.6%、「当分は住んでいたい」が26.2%となっており、約8割(79.8%)の方が“関市に住み続けたい”と回答しています。

一方、「できれば移転したい」は6.0%、「すぐにでも移転したい」は0.6%となっており、6.6%の方が否定的な居留意向を示しています。

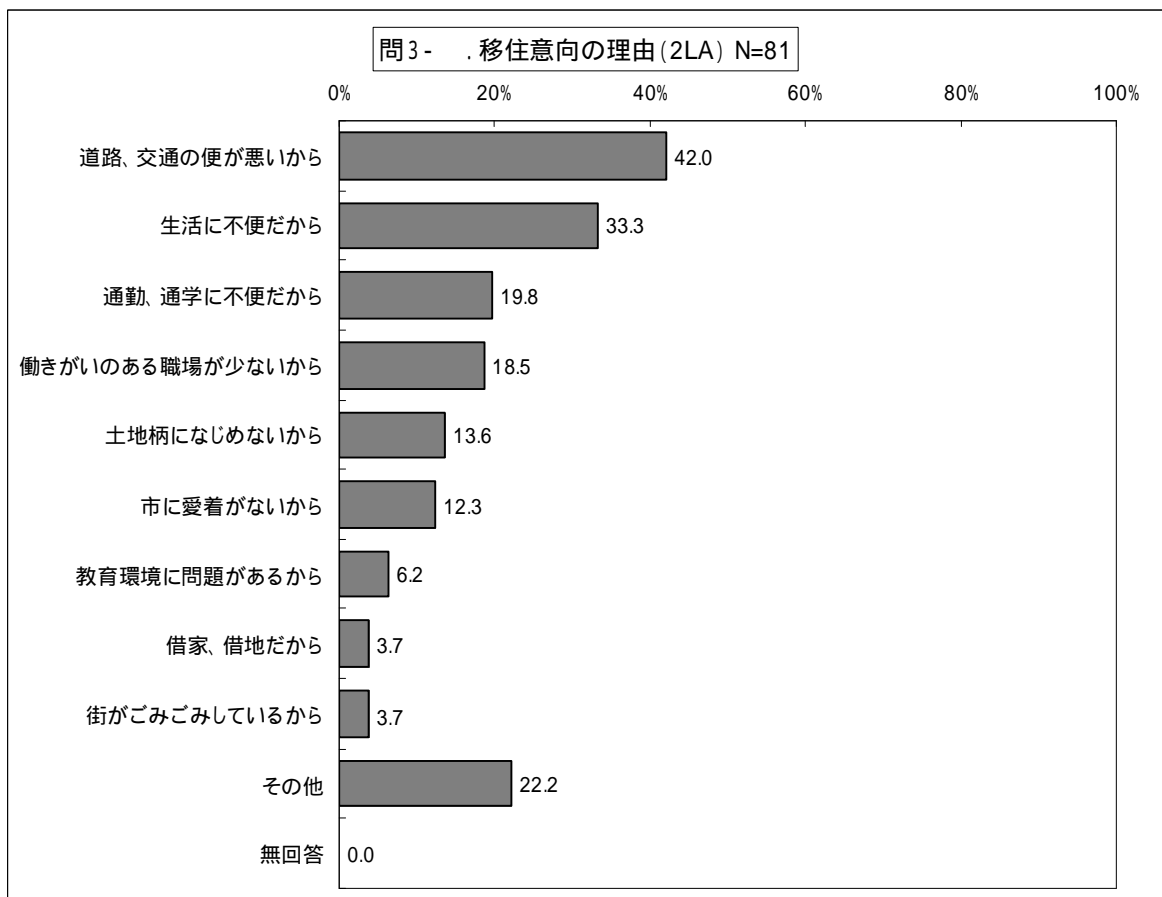
また、「わからない」は11.5%、「無回答」は2.1%でした。



問3 - 移住意向の理由

前問(問3)において、市外に移住する意向を持つ回答者は6.6%となっていますが、その理由について回答していただいたところ、「道路、交通の便が悪いから」が最も多く42.0%となっています。

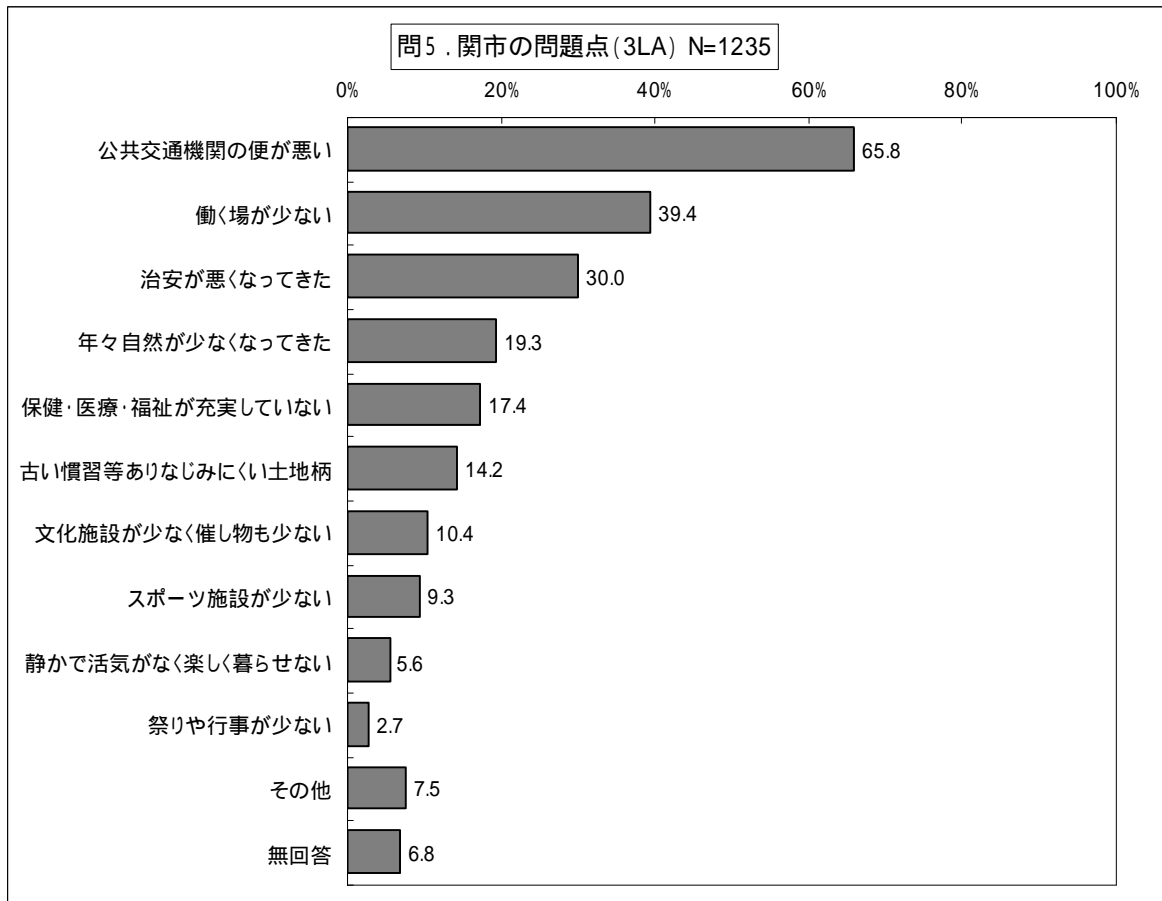
次いで、「生活に不便だから」が33.3%、「通勤、通学に不便だから」が19.8%、「働きがいのある職場が少ないから」が18.5%と続いています。



問5 関市の問題点

関市の欠点についてお聞きしたところ、「公共交通機関の便が悪い」が65.8%と他の項目と比べて非常に高くなっています。

次いで「働く場が少ない」が39.4%、「治安が悪くなってきた」が30.0%、「年々自然が少なくなってきた」が19.3%、「保健・医療・福祉が充実していない」が17.4%と続いています。

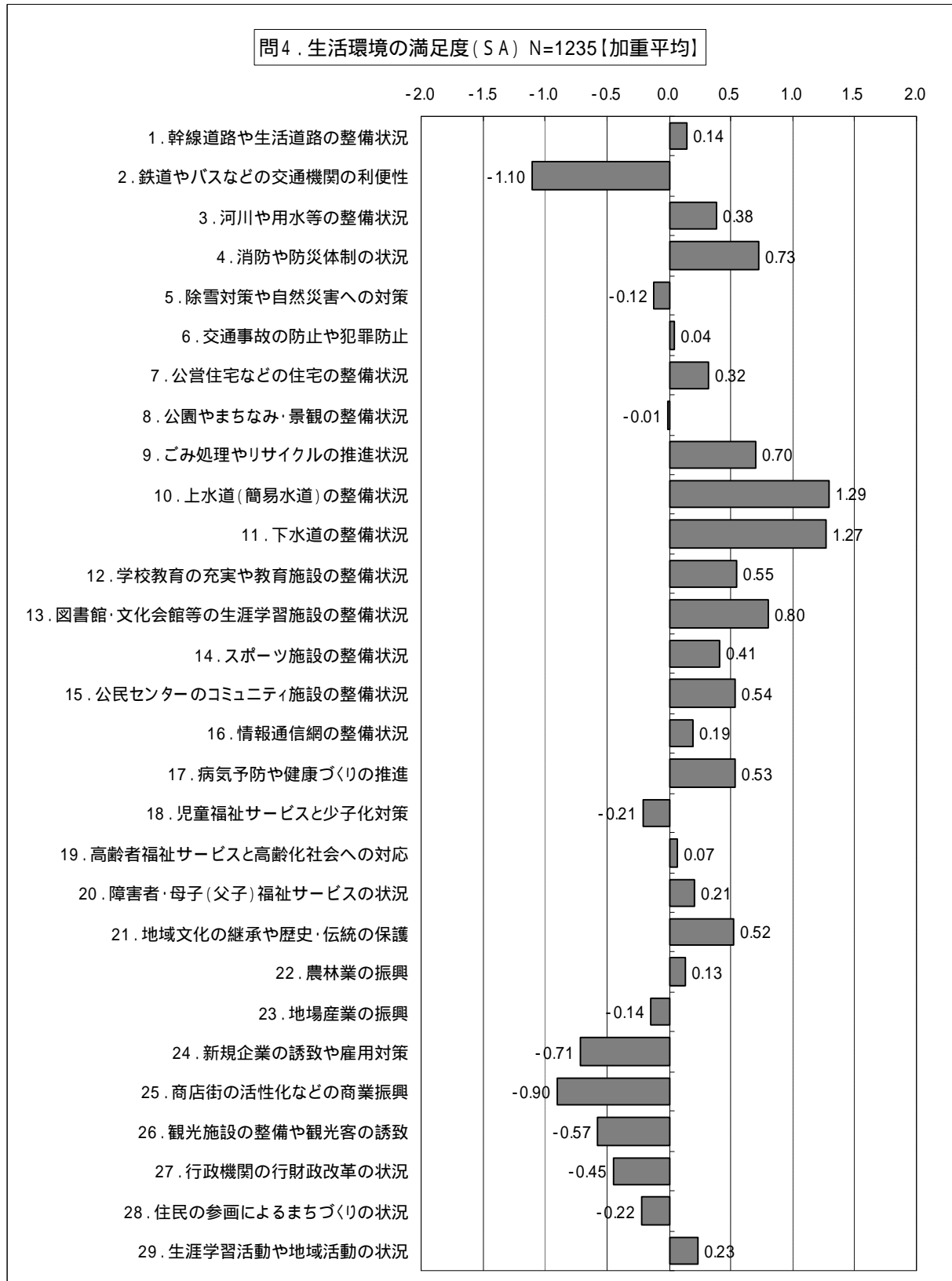


問5 関市の問題点		公共交通機関の便が悪い	働く場が少ない	治安が悪くなってきた	年々自然が少なくなってきた	保健・医療・福祉が充実していない	古い慣習等ありなじみにくい土地柄である
総数 (N = 1235)		65.8	19.3	30.0	39.4	12.9	14.2
居住地区別	旧関市 (安桜、旭ヶ丘、桜ヶ丘) (N = 311)	61.1	20.3	33.4	37.3	15.6	10.9
	旧関市 (その他の旧関市) (N = 540)	72.2	22.0	31.1	33.5	10.3	18.0
	洞戸地域 (N = 39)	61.5	10.3	28.2	53.8	31.4	5.1
	板取地域 (N = 35)	71.4	14.3	17.1	80.0	20.0	11.4
	武芸川地域 (N = 120)	63.3	16.7	30.8	31.7	21.8	15.8
	武儀地域 (N = 87)	63.2	19.5	19.5	60.9	60.5	11.5
	上之保地域 (N = 43)	58.1	9.3	18.6	65.1	0.0	4.7
	その他 (N=11)	72.7	0.0	36.4	36.4	14.3	0.0
	無回答 (N = 49)	40.8	12.2	32.7	34.7		14.3

上位6項目のみ掲載

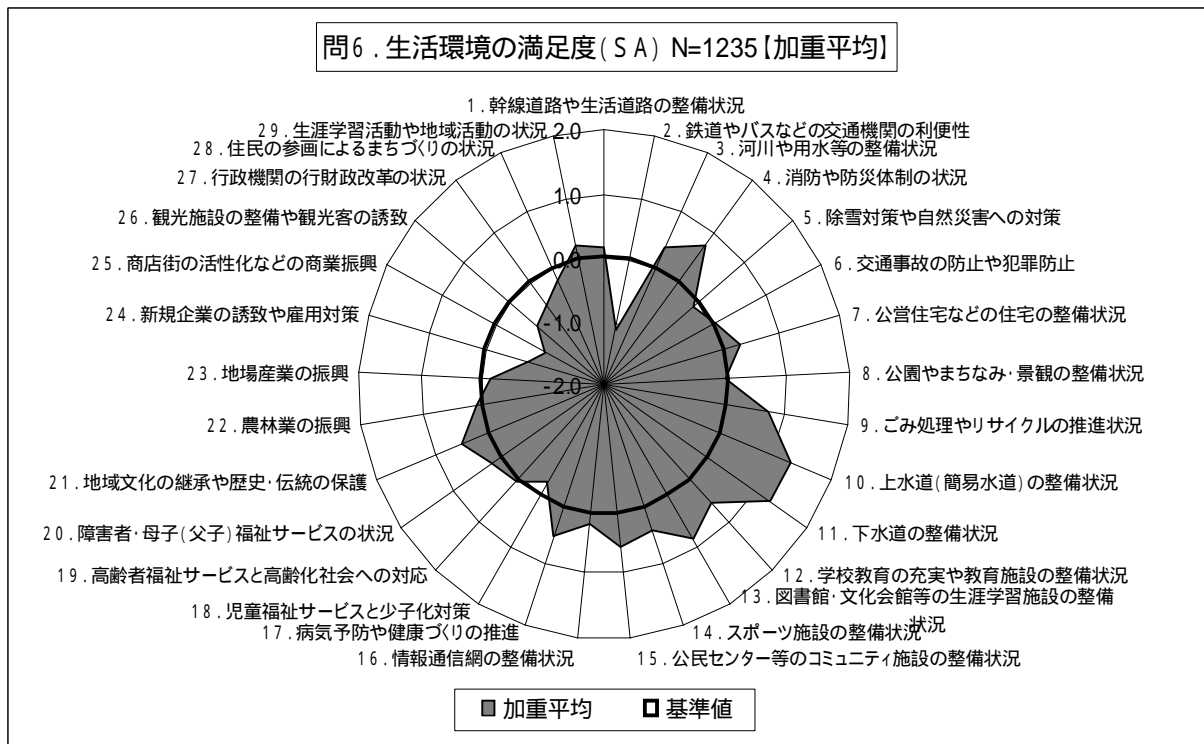
問6 生活環境の満足度

関市の生活環境に関連する29項目の選択肢それぞれに対し、回答者がその「満足度」について、相対的にどのような評価をしているかをみるために、加重平均値（各回答数に乗じて、総回答数で割った値）であらわしたものが次頁のグラフ（レーダーチャート）です。（「満足」を+2、「やや満足」を+1、「やや不満」を-1、「不満」を-2とし、プラスが肯定的評価、マイナスが否定的評価です。）



満足度の低い項目（加重平均 - 0.50 以下と設定）

項目	加重平均値
2. 鉄道やバスなどの交通機関の利便性	- 1.10
24. 新規企業の誘致や雇用対策	- 0.71
25. 商店街の活性化などの商業振興	- 0.90
26. 観光施設の整備や観光客の誘致	- 0.57



加重平均値 : 加重平均とは、対象をウェイト（加重）することによって、全体的なバランスをみる手法のひとつです。
 質問に対するそれぞれの回答選択肢を +2 ~ -2 と設定し、各回答数に乘じて、総回答数で割った値を出しています。質問に対する肯定的評価項目を +（プラス）、否定的評価項目を -（マイナス）としていますので、その結果（加重平均値）は回答者全体の評価をみることに有効です。
 ただし、（+2 とか、-1 とか）ウェイトづけること自体が既に人為的な要素となっており、回答者全体の絶対的な意思ではないことに留意する必要があります。

問7 生活環境の重要度

関市の生活環境に関連する29項目の選択肢それぞれに対し、回答者がその「重要度」について、相対的にどのような評価をしているかをみるために、加重平均値であらわしたものが下記の表です。（「重要」を+2、「やや重要」を+1、「あまり重要ではない」を-1、「重要ではない」を-2とし、プラスが肯定的評価、マイナスが否定的評価です。）

基準値(±0)を下回る項目はなく、相対的にみて回答者はすべての項目を重要としています。

重要度の非常に高い項目（加重平均値1.49以上と設定）は、

項 目	加重平均値
6. 交通事故の防止や犯罪防止	1.50

の1項目となっています。

また、重要度の高い項目（加重平均値1.00～1.48と設定）は、

項 目	加重平均値
1. 幹線道路や生活道路の整備	1.26
2. 鉄道やバスなどの交通機関の利便性の向上	1.45
3. 河川や用水等の整備	1.05
4. 消防や防災体制の充実	1.29
5. 除雪対策や自然災害への対策	1.31
9. ごみ処理やリサイクルの推進	1.37
11. 下水道の整備	1.00
12. 学校教育の充実や教育施設の整備	1.33
16. 情報通信網の整備	1.11
17. 病気予防や健康づくりの推進	1.28
18. 児童福祉サービスと少子化対策の充実	1.34
19. 高齢者福祉サービスと高齢化対策の充実	1.41
20. 障害者・母子（父子）福祉サービスの充実	1.03
23. 地場産業の振興	1.24
24. 新規企業の誘致や雇用対策	1.06
25. 商店街の活性化などの商業振興	1.12
27. 行政機関の行財政改革	1.26

の17項目となっています。

重要度の多少高い項目（加重平均値0.00～0.99と設定）は、

項 目	加重平均値
7. 公営住宅などの住宅の整備	0.43
8. 公園やまちなみ・景観の整備	0.82
10. 上水道（簡易水道）の整備	0.99
13. 図書館・文化会館等の生涯学習施設の整備	0.88
14. スポーツ施設の整備	0.68
15. 公民センター等のコミュニティ施設の整備	0.65
21. 地域文化の継承や歴史・伝統の保護	0.70
22. 農林業の振興	0.71
26. 観光施設の整備や観光客の誘致	0.79
28. 住民の参画によるまちづくり	0.93
29. 生涯学習活動や地域活動の推進	0.87

の11項目となっています。